

中学校・道徳の内容項目の解説

郷土愛

●中学校学習指導要領（平成20年3月）

4 主として集団や社会とのかかわりに関すること	〔一般的な呼称例〕
(8) 地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努める。	郷土愛

●解説

全体的な理解	<p>今日都市化あるいは過疎化が進んでおり、そのために郷土に対する愛着や郷土意識が希薄になっている傾向がみられる。しかし、生徒にとって、地域社会は家庭や学校とともに大切な生活の場である。郷土によってはぐくまれてきた伝統と文化に触れ、体験することを通して、そこに住むことの喜びが生まれ、地域社会の一員としての自覚がもてるようになり、郷土を大切にす心や態度もはぐくまれる。また、このような郷土をつくりあげてきた人々への尊敬の念や感謝の気持ちも生まれてくる。郷土を愛し大切にすることは、長い間にわたって、今、自分たちが生活している郷土をつくりあげてきた伝統と文化、先人や高齢者たちの努力に思いを寄せ、そのことに対する感謝の心を持ち、これを今後の人々のためにより発展させて引き継いでいくことである。</p>
発達的な観点	<p>中学生の時期は、自我の確立を強く意識するあまり、ともすれば、自分が自分だけで存在していると考えがちである。このような傾向を考えると、自分だけで存在しているのではなく、「家族」や「社会に尽くした先人や高齢者」によって自分が支えられて生きていることを自覚し、それらの人々への尊敬と感謝の気持ちを深めることは極めて大切なことである。</p>
指導の着眼点	<p>指導に当たっては、多くの地域で、郷土意識や地域社会に対する連帯感が薄くなっており、こうした傾向が強まっている事実を考慮し、地域の人々との人間関係を問い直したり、地域社会の実態を把握させたりして、郷土に対する認識を深め、郷土を愛しその発展に努めるよう指導していく必要がある。また、地域社会に尽くし、自己の人生を大切に生きてきた先人や高齢者への尊敬と感謝の気持ちをはぐくむよう指導の工夫に努めることも大切である。</p>

文部科学省「中学校学習指導要領解説・道徳編」（平成20年9月）より

■参考：小学校学習指導要領（平成20年3月）

4 主として集団や社会とのかかわりに関すること	〔一般的な呼称例〕	
低学年	(5) 郷土の文化や生活に親しみ、愛着をもつ。	郷土愛
中学年	(5) 郷土の伝統と文化を大切にし、郷土を愛する心をもつ。	郷土愛
高学年	(7) 郷土や我が国の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。	郷土愛・愛国心